補助金名称 据野市スポーツ協会補助金 2担当課名 生涯学習課 3総合計画の施策の柱 2-4 4予算科目 款 10 項 6 目 1 事業コード 1090 5現在考えている 事業期間 房	3総合計画の施策の柱										i)
表別 10 項 6 目 1 事業コード 1090 1090 1090 10交付表 1090 10交付先分類 10交付先分類 10交付先分類 10交付先分類 10交付先分類 10交付先分類 10交付先分類 10交付先の対象・目的 13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトブット、具体的な数値等) 14補助対象者・団体等が補助金で行う活動 15積算根拠の有無 無 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 15積算根拠の有無 無 事業費の一部を補助 下算式 13補助対象経費の設定の有無 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・目標 13補助対象経費の対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対			裾野市フ	スポーツは	3会補	助金		2担当課名		生涯学	習課
接り 接り 接り 接り 接り 接り 接り 接り	/ 子質利日	2-4									
5現在考えている 終期設定の有無 無 開始 S47 年度 ~ 終期(予定) — 年度 (終期設定有の場合のみ 6根拠例規の有無 有 例規名称 裾野市スポーツ推進事業補助金交付要綱 7必須業務 必須でない 8性質別分類① a連営費補助 10交付先分類 c特定団体(その他) 11交付先 NPO法人裾野市スポーツ協会 市民スポーツの推進 市民スポーツの推進 市民スポーツの推進 市民スポーツの推進 市内スポーツ活動の活性化 の効果・目標 アウトカム、アウトブット、具体的な数値等) 加盟競技団体の活動支援、スポーツ指導者の育成、障害者スポーツの推進、スポーツ 14補助対象者・団体等 が補助金で行う活動 無 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 16積算の考え方 計算式 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 16積算の考え方 計算式 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 16積算の考え方 本	T T T T T T T T T T	款 10	項	6	目	1	事業:	コード 10	90		
事業期間 開始 S47 年度 終期(予定) 一年度 (終期後定有の場合のみ) 6根拠例規の有無 有 例規名称 裾野市スポーツ推進事業補助金交付要綱 7必須業務 必須でない 3市単独助成 9性質別分類② a運営費補助 10交付先分類 6特定団体(その他) NPO法人裾野市スポーツ協会 11交付先 NPO法人裾野市スポーツ協会 市民スポーツの推進 市民スポーツの推進 (アウトカム、アウトブット、具体的な数値等) 市内スポーツ活動の活性化 が補助金で行う活動 加盟競技団体の活動支援、スポーツ指導者の育成、障害者スポーツの推進、スポーツツーリズムの推進等 15積算根拠の有無 無 15積算根拠の有無 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 16積算の考え方計算式 有 17補助対象経費の設定の有無 有 18補助対象経費の内容 交際費 × 慶弔費 × 飲食費 × 懇親会費 × 積立金 × 報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料、その他市長が特に必要と認める経費 その他補助対象の項目	5現在考えている	終期設定	の有無	無						ı	
7必須業務 8性質別分類①		開始	S47	年度	~	終期(-	予定)	_	年度	(終期設	定有の場合のみ)
8性質別分類① d市単独助成 9性質別分類② a運営費補助 10交付先分類 c特定団体(その他) 11交付先 NPO法人裾野市スポーツ協会 12補助金の目的 市民スポーツの推進 13補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトブット、具体的な数値等) 加盟競技団体の活動支援、スポーツ指導者の育成、障害者スポーツの推進、スポーツット、具体的な数値等) 14補助対象者・団体等が補助金で行う活動 加盟競技団体の活動支援、スポーツ指導者の育成、障害者スポーツの推進、スポーツッーリズムの推進等 15積算根拠の有無 無 16積算の考え方計算式 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 17補助対象経費の設定の有無 有 大原電費 × 原電費 × 飲食費 × 懇親会費 × 積立金 × 報賃費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料、その他市長が特に必要と認める経費 その他補助対象の項目 る経費	6根拠例規の有無	有	例規名	呂称		裾野ī	市スポ-	ーツ推進事業	補助金	交付要	細
8性質別分類① d市単独助成 9性質別分類② a運営費補助 10交付先分類 c特定団体(その他) 11交付先 NPO法人裾野市スポーツ協会 12補助金の目的 市民スポーツの推進 13補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトブット、具体的な数値等) 加盟競技団体の活動支援、スポーツ指導者の育成、障害者スポーツの推進、スポーツット、具体的な数値等) 14補助対象者・団体等が補助金で行う活動 加盟競技団体の活動支援、スポーツ指導者の育成、障害者スポーツの推進、スポーツッーリズムの推進等 15積算根拠の有無 無 16積算の考え方計算式 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 17補助対象経費の設定の有無 有 大原電費 × 原電費 × 飲食費 × 懇親会費 × 積立金 × 報賃費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料、その他市長が特に必要と認める経費 その他補助対象の項目 る経費	7必須業務	必須で	ない	1							
11交付先	8性質別分類①			助成		9性質別]分類②	2	a運営	費補助	
12補助金の目的 市民スポーツの推進 市民スポーツの推進 市内スポーツ活動の活性化 お効果・目標	10交付先分類	c特	定団体(その他)							
12補助金の目的	11交付先	NPO法人補	野市ス	ポーツ協	会						
る効果・目標		市民スポー	ツの推済	<u>隹</u>							
加盟競技団体の活動支援、スポーツ指導者の育成、障害者スポーツの推進、スポーツ 15積算根拠の有無 無 事業費の一部を補助 予算の範囲以内 16積算の考え方計算式 有	る効果・目標 (アウトカム、アウトプッ	市内スポー	ツ活動の	の活性化							
16積算の考え方 計算式 17補助対象経費の設定の有無 有 18補助対象経費の内容 交際費 × 慶弔費 × 飲食費 × 懇親会費 × 積立金 × 報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料、その他市長が特に必要と認める経費	14補助対象者・団体等				スポー	ツ指導者	首の育 原	戊、障害者ス ァ	₭—ツ <i>0</i>)推進、	スポーツ
16積算の考え方計算式 17補助対象経費の設定の有無 有 18補助対象経費の内容 交際費 × 慶弔費 ※ 飲食費 ※ 懇親会費 ※ 積立金 ※ その他補助対象の項目 る経費 ※ おり食費 ※ の他市長が特に必要と認める経費	15積算根拠の有無	無									
18補助対象経費の内容 交際費 × 慶弔費 × 飲食費 × 懇親会費 × 積立金 × 報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料、その他市長が特に必要と認める経費 る経費	16積算の考え方	ず木貝の	מי כי דוווי	υ Ir д v	V	IWY					
報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料、その他市長が特に必要と認め その他補助対象の 項目	17補助対象経費の設定の有無	有									
その他補助対象の 項目	18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積エ	ː金 ×
	その他補助対象の		費、消耗	品費、印	刷製る	本費、役割	务費、 億	使用料、その作	也市長7	が特に	必要と認め
19団体等の構成員数 28 年度 29 年度 補足	19団体等の構成員数	28 年度	29	年度				補足			
団体 22 19	団体	2	2	19							
人数	人数		_	_							
決 算 予算 (千円)			決算		3	予算	(千	·円)			
20市の補助金の財源 28 年度 29 年度 30 年度 補足	20市の補助金の財源	28 年度	29	年度	30	年度		補	足		
国・県支出金 0 0 0	国·県支出金		0	0		0					
その他補助金 0 0 0	その他補助金		0	0		0					
一般財源 4,030 4,030 4,030	一般財源	4,03	0	4,030		4,030					
	合計	4,03	0	4,030		4,030					
合計 4,030 4,030 4,030	21団体・事業の財務内容	28 年度	29	年度				補足			
	補助金 市										
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足		,	_	0							
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足 補助金 市 4,030 4,030	事業収入	5,84	6	5,650							
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足 補助金 助成金 市 4,030 4,030 その他 0	会費(自己負担等)			1,800							
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足 補助金 助成金 市 その他 4,030 0 0 5,846 4,030 0 5,650	繰越金			0							
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足 補助金 助成金 市 4,030 4,030 その他 0 0 事業収入 会費(自己負担等) 5,846 5,650 1,709 1,800	その他	4,30	5	251							
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足 補助金 助成金 市 4,030 4,030 り成金 その他 0 0 事業収入 5,846 5,650 会費(自己負担等) 1,709 1,800 繰越金 0 0	合計			11,731							
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足 補助金 助成金 市 4,030 4,030 その他 0 0 事業収入 5,846 5,650 会費(自己負担等) 1,709 1,800 繰越金 0 0 その他 4,305 251	市の補助金の割合	25	%	34%							

補助金名称	裾野市ス	ポーツ	劦会補助金	担当課名	生涯学習課
(2)直近の見直し	の状況(過去5年	間)			
1見直しの有無	有	\rightarrow	2見直した年度	H27	年度
3内容	補助金交付対象事 めた。	業を定め	かた。補助率の変更(明	記無→予算 <i>0</i>	7範囲内)。提出様式を定
(3)基本的な視点	からの評価				
評価項目及	び視点	適否	(△·×Œ	場合のみ記え	入)理由·説明
【必要性】					
①目的・内容に、補助 益性が認められるか	つを行うに足りる公	0			
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	Δ	スポーツ振興の為の	施策が見えに	< U
③広く市民生活の向.	上に貢献するか	Δ	スポーツ振興の為の	施策が見えに	⟨lı
④市民ニーズが高い	事業か	0			
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0			
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0			
【妥当性】					
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0			
8最適な補助対象か		0			
【有効性】					
⑨補助金額に見合う できるか	効果が十分に期待	Δ	効果の算定が難しい		
⑩目的や目標を適切 か	 に設定できている	Δ	目的はあるが、具体的	りな目標設定	はない。
【公平性】					
⑪その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0			

補助金の算定を今後検討したい

Δ

⑩交付先や補助金額は公平に決められ ているか

補助金名称	裾野市ス	#_~\	カム坩目	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	担当課名	生涯学習課
		VIV 21	加五州	<u>孙</u> 亚	15日本石	工涯于自床
(4)ガイドラインの 評価 ^項		適否		(人・×の焊る	≥のみ記え)押!	由と今後の対応
		地百	設定」			しているため、終期が設
①補助金の終期を設定	さしているか	×	定でき		・Vフ/日 <u>3</u> J /J ・WE NJ い	している/このた 小ミ州/3・6文
②積算基準を定めてい (前年踏襲になってい		×	基準に	は特に設けてい	ない	
③補助要綱で補助対象になっているか	となる経費が明確	0				
④補助対象経費に懇親会費 補助対象として適当でない約		0				
⑤補助率の上限が、補 の1以内になっているか		×	要綱」	-2分の1以内に	こなっていない	
⑥繰越金・積立金・余乗 は適切か	金・内部留保の額	0				
⑦類似した補助金はな	いか	0				
⑧自主財源の確保に努 (最低でも前年度の収入)		×	収入が	「協賛金、会費」	こ限られている。	0
⑨再補助(交付先が再	補助)はないか	×		団体への再補助 務効率上認めて		、組織の性質上また市
⑩履行確認は、適切に	できているか	0				
(5)補助効果の検	証					
1補助金により期待される効果・目標						
れる効果・日保 (アウトカム、アウトプッ ト、具体的な数値等)	市内スポーツ活動の)活性化	;			
2達成状況	加盟団体の維持に勢	努めてい	る			
3補助効果の評価	b一定の効果を	あげてい	る			
4評価の理由	加盟団体の維持に	努めてい	る			
(6)今後の方向性						
今後の方向性	a現行のま	ま継続				
「a現行のまま継続」の	の場合			「b見直した上で	で継続」の場合	
22.72	H27年度に要綱を改	正し、見	直し			
継続の理由	済み			見直しの内容		
				見直しの時期		
	·			70 E O 47 HJ 79]		
「c廃止する」の場合				「dその他」の場	易 合	
廃止の理由				その他の 内容		

廃止の時期

(1)補月	助の内容								作成	年度	30	年度	-
1補助金	名称		富士礼	据野高	原マラソ	ン大会	補助金		2担当	課名		生涯学	智課
3総合計画	画の施策の柱	2-	-4										
4予算科		款	10	項	6	目	1	事業	コード	10	90		
5現在考え	えている	終期	没定の	有無	無	ŧ						_	
事業期間]	開始	S	47	年度	~	終期(-	予定)	_	_	年度	(終期設	定有の場合の
6根拠例	規の有無	有	Ī	例規名	3称		裾野	市スポー	ーツ推え	進事業	補助金	交付要	網
7必須業績	務	必	須でな	い]								
8性質別2			dī	5単独.	助成		9性質別	分類②	2		b事業	費補助	
10交付先	分類		c特定	団体(その他)								
11交付先	}	裾野市	陸上說	竞技協	会								
12補助金	の目的	市民ス	ポーツ	′の推進	<u>É</u>								
る効果・目 (アウトカム	により期待され 標 ム、アウトプッ な数値等)				D活性化								
	象者・団体等 さで行う活動	富士裾	野高原	マラン	/ン大会の	の運営							
15積算根	拠の有無	無	ŧ										
16積算の 計算式)考え方	大会運	古 東 Ti	HI 197]									
17補助対象	経費の設定の有無	有	Ī										
18補助対	象経費の内容	交陽	費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親	会費	×	積	소金 ×
その他 項目	補助対象の	印刷製	本費、	賃借署	斗、その個	也市長	が特に必	多要と認	める経	費			
19団体等	の構成員数	28	年度	29	年度				補足	2			
団体													
人数													
			決	弹		3	5算	(千	円)				
20市の補	前助金の財源	28	年度	29	年度	30	年度			補	足		
国·県支出	出金		0		0		0						
その他補			0		0		0						
一般財源			963		963		963						
	合計		963		963		963						
21団体・事	事業の財務内容	28	年度	29	年度				補足	E			
補助金	市		963		963								
助成金	その他		0		0								
事業収入		1	3,752		13,514								
	己負担等)		0		0								
繰越金			0		112								
その他	合計	-	36		113								
	合計]金の割合		14,751 7%		14,590 7%								
11 47 Im 19.			, ,0		, 70								

補助金名称	富士裾野高	原マラソ	ン大会補助金	担当課名	生涯学習課
(2)直近の見直し		間)			
1見直しの有無	有	\rightarrow	2見直した年度	H27	年度
3内容	補助金交付対象事態	業を定め	かた。補助率の変更(明	記無→予算 <i>0</i>)範囲内)。提出様式を定
(3)基本的な視点:					
評価項目及	び視点	適否	(△·× 0.	場合のみ記え	、)理由·説明
【必要性】					
①目的・内容に、補助 益性が認められるか	を行うに足りる公	0			
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0			
③広く市民生活の向_	上に貢献するか	0			
④市民ニーズが高い	事業か	0			
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0			
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0			
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0			
⑧最適な補助対象か		0			
【有効性】					
⑨補助金額に見合う。 できるか	効果が十分に期待	0			
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0			
【公平性】					
⑪その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0			
②交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0			

補助金名称	富士裾野高	原マラン	ン大会	補助金	担当課名	生涯学習課
(4)ガイドラインの	見直しの視点					
評価コ	頁目	適否		(△•×の場合	うのみ記入)理	由と今後の対応
①補助金の終期を設定	ミしているか	×	毎年開	開催される大会(のため	
②積算基準を定めてい (前年踏襲になってい		×	基準に	は特に設けてい	ない	
③補助要綱で補助対象 になっているか	をとなる経費が明確	0				
④補助対象経費に懇親会費 補助対象として適当でない		0				
⑤補助率の上限が、補 の1以内になっているが		×	補助対	対象を印刷製本	費・賃借料に限	定している
⑥繰越金·積立金·余素 は適切か	剣金・内部留保の額	0				
⑦類似した補助金はな	にいか	0				
⑧自主財源の確保に到 (最低でも前年度の収力)		0				
⑨再補助(交付先が再	補助)はないか	0				
⑩履行確認は、適切に	できているか	0				
(5)補助効果の検	<u>証</u>					
1補助金により期待される効果・目標						
イレータの ホーロ トライン トー・	, 市内スポーツ活動 <i>0</i>)活性化	;			
2達成状況	毎年開催される大会	食は市内	外から	3,000人以上参	加する人気のス	大会となっている。
3補助効果の評価	b一定の効果を	あげてい	る			
4評価の理由	市内外から毎年3,00 いる	00人以」	上参加し	ており、運営に	は多くの市民な	ボランティアが参加して
(6)今後の方向性						
今後の方向性	a現行のま	ま継続				
「a現行のまま継続」	の場合			「b見直した上す	で継続」の提合	
・a━┗┃┃♥┛みみ神性が€┃	ル場 □ H27年度に要綱を改	正し、見	直し	・り元旦した上		
 継続の理由	済み			見直しの内容		
47-478 0 V - 12 12				見直しの時期		
				元旦しの时期		
「c廃止する」の場合				「dその他」の場	·····································	
廃止の理由				その他の 内容		

廃止の時期

(1)補助の内容							作成年度	30	年度	
1補助金名称	地区	スポー	ソ振興事業	集運営	費補助金	<u>.</u>	2担当課名	<u></u>	生涯学	智課
3総合計画の施策の柱	2-4									
4予算科目	款 1) 項	6	目	1	事業	コード	1090		
	終期設定	の有無	無						1	
事業期間	開始	S47	年度	~	終期(予定)	_	年度	(終期設	定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規	名称		裾野	市スポ	ーツ推進事	業補助金	交付要	E 綱
7必須業務	必須7	きない								
8性質別分類①		d市単独	助成		9性質別	分類②	2	b事業	費補助	
10交付先分類	c特	定団体	(その他)							
11交付先	5地区体育	委員会								
12補助金の目的	市民スポー	−ツの推	進							
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	各地区の	スポーツ	事業の活	性化						
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	各地区体	育祭、市	スポーツ	祭(レク	スポ大会	会予選)	、その他地	区体育委	員活動	ħ
15積算根拠の有無	無									
16積算の考え方 計算式	東 2事第山 4事業	美159,000 97,000	0 西 4	事業10	65,000 🥻	梁良 7	事業210,000) 富岡	4事業1	75,000 須
17補助対象経費の設定の有無	有									
17補助対象経費の設定の有無 18補助対象経費の内容	有交際費	×	慶弔費	×	飲食費	l ×	製親会費	· ×	積	立金 ×
	交際費		慶弔費 使用料、負				製親会費 特に必要と			立金 ×
18補助対象経費の内容	交際費	没務費、 (立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の 項目	交際費 報償費、役	没務費、 (吏用料、負				特に必要と			立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の 項目 19団体等の構成員数	交際費 報償費、役	没務費、 (吏用料、負				特に必要と			立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の 項目 19団体等の構成員数 団体	交際費 報償費、役	没務費、 (吏用料、負	担金、		市長が	特に必要と			立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の 項目 19団体等の構成員数 団体	交際費 報償費、役	支務費、位 支 2 決算	吏用料、負	担金、	、その他	市長が	特に必要と 補足 ・円)			立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の 項目 19団体等の構成員数 団体 人数	交際費 報償費、役 28 年月	支務費、位 支 2 決算	9 年度	担金、 = 30	、その他 [:] 予算	市長が	特に必要と 補足 ・円)	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源	交際費 報償費、役 28 年月	と務費、(を 決算 を を 2	使用料、自 9 年度 9 年度	担金、	、その他 予算) 年度	市長が	特に必要と 補足 ・円)	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金	交際費 報償費、役 28 年月 28 年月	と務費、信 決算 0	9 年度 9 年度 0	担金、 30	、その他 [*] 予算 の年度 0	市長が	特に必要と 補足 ・円)	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金	交際費 報償費、役 28 年月 28 年月	決算 2 0 0 0	9 年度 0 0	担金、	予算) 年度 0	市長が	特に必要と 補足 ・円)	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 一般財源	交際費 報償費、役 28 年原 28 年原	決算 注 2 0 0 0 552 552	9 年度 9 年度 0 0 752	担金、	をの他 予算 0 0 752	市長が	特に必要と 補足 ・円)	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 ー般財源 合計	交際費 報償費、役 28 年 28 年 7 7 28 年	決算 注 2 0 0 0 552 552	9 年度 9 年度 0 0 752 752	230	をの他 予算 0 0 752	市長が	特に必要と	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 一般財源 合計 21団体・事業の財務内容	交際費 報償費、役 28 年 28 年 7 7 28 年	決算	9 年度 9 年度 0 752 752 9 年度	30 30	をの他 予算 0 0 752	市長が	特に必要と	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 一般財源 合計 21団体・事業の財務内容 補助金 市	交際費 報償費、? 28 年 28 年 7 7 28 年 7 1,7	決算	9 年度 9 年度 0 752 752 9 年度 752	30 30	予算)年度 0 752 752	市長が	特に必要と	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 一般財源 合計 21団体・事業の財務内容 補助金 助成金 市の他	交際費 報償費、役 28 年原 28 年原 7 28 年原 7	決算 決算 2 0 0 52 52 52 52 20	9 年度 9 年度 0 752 752 9 年度 752 1,720	30 30	をの他 予算 0 0 752	市長が	特に必要と	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 一般財源 合計 21団体・事業の財務内容 補助金 助成金 市 での他 事業収入	交際費 報償費、役 28 年 28 年 7 7 28 年 1,7	決算 決算 0 0 52 52 52 52 20 99	9 年度 9 年度 0 752 752 9 年度 752 1,720 92	30 30 5 5 団体	予算)年度 0 752 752	市長が	特に必要と	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 一般財源 合計 21団体・事業の財務内容 補助金 助成金 市 の他 事業収入 会費(自己負担等)	交際費 報償費、名 28 年 28 年 7 7 28 年 1,7	決算 決算 0 0 52 52 52 52 20 99 27	9 年度 9 年度 0 0 752 752 752 1,720 92 234	30 30 5 団体	予算)年度 0 752 752	市長が	特に必要と	認める経		立金 ×
18補助対象経費の内容 その他補助対象の項目 19団体等の構成員数 団体 人数 20市の補助金の財源 国・県支出金 その他補助金 一般財源 合計 21団体・事業の財務内容 補助金 助成金 市 その他 事業収入 会費(自己負担等) 繰越金	交際費 報償費、名 28 年 28 年 7 7 28 年 1,7	決算 2 2 2 2 2 2 2 2 2	9 年度 9 年度 0 0 752 752 9 年度 1,720 92 234 473	30 30 5 団体	予算)年度 0 752 752	市長が	特に必要と	認める経		立金 ×

補助金名称	地区スポーツ	振興事業	業運営費補助金	担当課名		生涯学習課
(2)直近の見直し		:間)				
1見直しの有無	有	\rightarrow	2見直した年度	H27	年度	
3内容	補助金交付対象事態	業を定め	かた。補助率の変更(明	記無→予算 <i>0</i>)範囲内	勺)。提出様式を定
(3)基本的な視点:	 からの評価					
評価項目及	び視点	適否	$(\triangle \cdot \times \sigma)$	場合のみ記え	()理由	•説明
【必要性】						
①目的・内容に、補助 益性が認められるか	」を行うに足りる公	0				
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0				
③広く市民生活の向	上に貢献するか	0				
④市民ニーズが高い	事業か	0				
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0				
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→○、ない→×	があるか	0				
【妥当性】						
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0				
⑧最適な補助対象か		0				
【有効性】						
⑨補助金額に見合う。 できるか	効果が十分に期待	0				
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0				
【公平性】						
①その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0				
⑫交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0				

補助金名称	地区スポーツ	振興事業	美運営	責補助金	担当課名	生涯学習課
(4)ガイドラインの!	 見直しの視点					
評価項		適否		(△•×の場1	合のみ記入)理	里由と今後の対応
①補助金の終期を設定し	しているか	×	設定し 定でき		の活動が継続	売しているため、終期が設
②積算基準を定めている (前年踏襲になっている		0				
③補助要綱で補助対象。 になっているか	となる経費が明確	0				
④補助対象経費に懇親会費、 補助対象として適当でない経		0				
⑤補助率の上限が、補助の1以内になっているか	助対象経費の2分	0				
⑥繰越金・積立金・余剰: は適切か	金・内部留保の額	0				
⑦類似した補助金はない	か	0				
⑧自主財源の確保に努める。 (最低でも前年度の収入を)		0				
⑨再補助(交付先が再補	(動)はないか	0				
⑩履行確認は、適切にて	ごきているか	0				
(5)補助効果の検	证					
1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	各地区のスポーツ事	≨業の活	性化			
	地区ごとの体育行事	事を開催:	させてい	いきたい		
3補助効果の評価	b一定の効果を	あげてい	る			
4評価の理由 :	地区スポーツ振興に	寄与				
(6)今後の方向性						
今後の方向性	b見直した上	で継続				
「a現行のまま継続」の	場合			「b見直した上	で継続」の場合	ì
継続の理由				見直しの内容		《一ツ事業を効果的に活め、要綱を改正する。
				見直しの時期	H31	
「。歯よせて、の坦へ				「」このは、のよ		
「c廃止する」の場合				「dその他」の均	あ亡 	
廃止の理由				その他の 内容		
廃止の時期						

1補助金名称 わんぱく遊び塾補助金 2担当課名 3総合計画の施策の柱 2-3 4予算科目 款 10 項 5 目 1 事業コード 1058	生涯学習課
4予算科目 款 10 項 5 目 1 事業コード 1058	
/b !!= =	
5現在考えている 終期設定の有無 無	_
事業期間 開始 H14以前 年度 ~ 終期(予定) — 年度	(終期設定有の場合のみ
6根拠例規の有無 有 例規名称 裾野市社会教育振興事業費補助	金交付要綱
7必須業務 必須でない	
	費補助
10交付先分類 c特定団体(その他)	
11交付先 裾野わんぱく遊び塾	
青少年の健全育成 12補助金の目的	
13補助金により期待され 参加した子どもたちが青年になって再び指導者として参加するといった	と、持続可能な活動
る効果・目標 の定着化 (アウトカム、アウトプッ 【日標】年間延べ参加者250人	
(アウトカム、アウトブッ 【目標】年間延べ参加者250人 ト、具体的な数値等)	
春のわんぱく冒険隊	
14補助対象者・団体等 夏のわんぱくキャンプ が補助金で行う活動 秋のわんぱくハイキング	
が補助金で行う活動 秋のわんぱくハイキング 冬のわんぱくキャンプ、クリスマス会	
15積算根拠の有無 有	
補助対象事業費の1/2以内	
16積算の考え方計算式	
17補助対象経費の設定の有無 有	
18補助対象経費の内容 交際費 × 慶弔費 × 飲食費 〇 懇親会費 ×	積立金×
報償費、旅費、消耗品費、食糧費、賄材料費、印刷製本費、役務費、 その他補助対象の 項目	東用料及び賃借 で開料をで
 19団体等の構成員数 28 年度 29 年度 補足	
団体	
人数	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_
20市の補助金の財源 28 年度 29 年度 30 年度 補足	
国・県支出金 0 0 0	
その他補助金 0 0 0	
一般財源 488 407 488	
合計 488 407 488	
21団体・事業の財務内容 28 年度 29 年度 補足	
補助金 市 488 407	
助成金 その他 0 0	
事業収入 501 402	
会費(自己負担等) 0 0	
繰越金 59 5	
その他 0 0	
合計 1,048 814	
市の補助金の割合 47% 50%	

補助金名称	わんは	ぱく遊び望	垫補助金	担当課名		生涯学習課
(2)直近の見直し	の状況(過去5年	間)				
1見直しの有無	有	\rightarrow	2見直した年度	H29	年度	ĺ
3内容	要綱改正(補助対象	経費や	補助率を策定した)			
(3)基本的な視点	 からの評価					
評価項目及	び視点	適否	(△•׌	場合のみ記え	人)理由	·説明
【必要性】						
①目的・内容に、補助 益性が認められるか]を行うに足りる公	0				
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0				
③広く市民生活の向。	上に貢献するか	0				
④市民ニーズが高い	事業か	0				
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0				
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0				
【妥当性】						
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	ではなく、補助金と	0				
⑧最適な補助対象か		0				
【有効性】						
⑨補助金額に見合う できるか	効果が十分に期待	0				
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0				
【公平性】						
①その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0				
⑫交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0				

裤	前助金名称	わんは	ぱく遊び望	垫補助 3	È	担当課名	生涯学習課
(4)ガイドラインの	見直しの視点					
Ì	評価項		適否		(△·×の場1	合のみ記入)理	里由と今後の対応
(1	補助金の終期を設定	しているか	×	設定し		の活動が継続	売しているため、終期が設
2	積算基準を定めてい (前年踏襲になってい		0				
	補助要綱で補助対象 なっているか	となる経費が明確	0				
	補助対象経費に懇親会費 助対象として適当でない紹		0				
	補助率の上限が、補)1以内になっているか		0				
	繰越金・積立金・余乗 は適切か	金・内部留保の額	0				
7	類似した補助金はな	いか	0				
(8	自主財源の確保に努 (最低でも前年度の収入		0				
(0))再補助(交付先が再	補助)はないか	0				
1	履行確認は、適切に	できているか	0				
(•			
	補助金により期待さ	参加した子どもたち	が青年に	こなって	面が指導者と	て参加すると	いった、持続可能な活動
(ιる効果・目標 アウトカム、アウトプッ 、具体的な数値等)	の定着化 【目標】年間延べ参加			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		77.5(14.70) 7.110 6.711.33
	達成状況	平成27年度221人 平成28年度247人 平成29年度164人					
3	補助効果の評価	b一定の効果を	あげてい	る			
4	評価の理由	目標延べ人数にはる	及ばない	が、一	定の参加者数な	を維持している	5
(6) 今後の方向性				_		
4	後の方向性	a現行のま	ま継続				
	「a現行のまま継続」の)場合			「b見直した上	で継続」の場合	<u> </u>
		H29年度に要綱を改	正し、見	直し			
	継続の理由	済み			見直しの内容		
					見直しの時期		
	「c廃止する」の場合	1			「dその他」の特	易合 T	
	廃止の理由				その他の 内容		
	廃止の時期						

(1)補月	助の内容								作成	年度	30	年度	
1補助金	名称	青少年育成市民会議補助金							2担当	課名		生涯学	習課
3総合計	画の施策の柱	2-	-3										
4予算科		款	10	項	5	目	1	事業	コード	10	58		
5現在考	えている	終期	設定の	有無	無							_	
事業期間		開始	S	60	0 年度 ~ 終期(予定) — 年度 (終期設定有の						定有の場合のみ		
6根拠例	規の有無	7	有	例規名	3称		裾野市	社会教	育振興	事業	費補助	金交付	要綱
7必須業	略	ıÙ	須でな	L)	Ī								
8性質別				5 上 上 単 独 上	 助成		9性質別	分類(2	2)	b事業費補助			
10交付先		b特定団体(市事務局)											
11交付先	1	2月115日	1 書小名	= 李成	市民会議								
וואואוו	,				明氏太郎	ŧ							
青少年の健全育成 12補助金の目的													
13補助金	により期待され				関係団体 考100名	の総合	合調整						
	ロテ ム、アウトプッ	【日標	』10月11多多	S 参加·	者100名								
ト、具体的	は数値等)												
	青少年の非行防止、事故防止を推進する事業 14補助対象者・団体等 が補助金で行う活動												
15積算根	拠の有無	7	<u>有</u>										
補助対象事業費の10/10以内(上限10万円) 16積算の考え方 計算式													
17補助対象	経費の設定の有無	7	有										
18補助対	象経費の内容		際費	×	慶弔費	×	飲食費		懇親		×		ː金 ×
その他 項目	補助対象の				品費、食材に必要な			費、印刷	削製本費	責、役 矛	务費、 例	吏用料 刀	ひび賃借
19団体等	の構成員数	28 年度 29 年度							補足	E			
団体													
人数													
		決算				3	7算	(千	千円)				
20市の補	助金の財源	28	年度	29	年度	年度 30		年度		補足			
国・県支持			0		0		0						
その他補			0		0		0						
一般財源			100		100		100						
	合計		100		100		100						
21団体・3	業の財務内容	28	年度	29	年度				補足	2			
補助金	市		100		100								
助成金	その他		0		22								
事業収入			0		0								
	己負担等)		0		0								
繰越金			70		50								
その他	스타		170		170								
	合計]金の割合		170 59%		172								
叩の無助	1並の割合		<u> </u>		58%								

補助金名称	青少年育	成市民	会議補助金	担当課名		生涯学習課
(2)直近の見直し	の状況(過去5年	間)				
1見直しの有無	有	\rightarrow	2見直した年度	H29	年度	
3内容	経費や	補助率を策定した)				
(3)基本的な視点	 からの評価					
評価項目及	び視点	適否	(△•׌	場合のみ記え	入)理由	₃ ∙説明
【必要性】						
①目的・内容に、補助 益性が認められるか]を行うに足りる公	0				
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0				
③広く市民生活の向。	上に貢献するか	0				
④市民ニーズが高い	事業か	0				
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0				
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0				
【妥当性】						
⑦直接執行や委託等 いう手段が最適か	0					
⑧最適な補助対象か		0				
【有効性】						
 ⑨補助金額に見合う: できるか	0					
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0				
【公平性】						
①その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0				
⑫交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0				

補助金名称	青少年育	成市民	会議補足	助金	担当課名	生涯学習課
(4)ガイドラインの	見直しの視点					
評価項	[]	適否		(△•×の場合	合のみ記入)理	里由と今後の対応
①補助金の終期を設定	×	設定し 定でき		の活動が継続	売しているため、終期が設	
②積算基準を定めてい、 (前年踏襲になってい	0					
③補助要綱で補助対象 になっているか	0					
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか						
⑤補助率の上限が、補 の1以内になっているか		×	要綱σ)定めによる		
⑥繰越金・積立金・余剰 は適切か	金・内部留保の額	0				
⑦類似した補助金はなり	いか	0				
8自主財源の確保に努 (最低でも前年度の収入		0				
⑨再補助(交付先が再	補助)はないか	0				
⑩履行確認は、適切に	0					
(5)補助効果の検	証		I			
1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	関係団体 者100名	本の総合	î調整			
2達成状況	防止強	調月間	の街頭キャンペ	ペーンや青少年	F育成関係者等研修会を	
3補助効果の評価	b一定の効果を	あげてい	る			
4評価の理由	肝修会を	開催し、	目標には達し	ないが一定の	参加者を集めている	
(6)今後の方向性	,					
今後の方向性	a現行のま	ま継続				
「a現行のまま継続」の				「b見直した上 ⁻	で継続」の場合	<u> </u>
all and a second a	H29年度に要綱を改	正し、見	直し	200000	C-112-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-	-
継続の理由済み				見直しの内容		
				見直しの時期		
「c廃止する」の場合				「dその他」の均	<u></u> 류승	
0,50 1 0 1 0 7 7 9 D				3 C 07 [E] 07%	2 H	
廃止の理由				その他の 内容		
廃止の時期						

(1)補助の内:	1)補助の内容								作成年度 30 年度				
1補助金名称			地区	医青少年	年育成連	絡会補	献助金		2担当	課名		生涯学	習課
3総合計画の施策	の柱	2-	-3										
4予算科目		款	10	項	5	目	1	事業コード 1058					
5現在考えている		終期	設定の	有無	無								
事業期間		開始	開始 H28 年度 ~ 終期(予定) — 年度 (終期設定有の							定有の場合のみ			
6根拠例規の有無		7	有 例規名称 裾野市社会教育振興事業費補助金交付要綱							要綱			
7必須業務		ועו	須でな	L.V	1								
8性質別分類①		~		下単独!	 助成		9性質別	分類(2)	b事業費補助			
10交付先分類		c特定団体(その他)											
11交付先		드뉴다	5地区青少年育成連絡会										
一文刊元					生附云								
青少年の健全育成 12補助金の目的													
13補助金により期待	きされ	青少年	Fの地域	或活動	参加								
る効果・目標(アウトカム、アウトプッ													
ト、具体的な数値等)													
	地区毎の青少年育成活動 ・補助対象者・団体等 ・補助金で行う活動												
15積算根拠の有無	Ħ.	4	<u></u>										
10 25 10 20 11 11				上 集費の⁻	10/10以[内(上)	艮20万円)					
16積算の考え方計算式													
	の有無	7	<u> </u>										
18補助対象経費の	内容		於 費	×	慶弔費	×	飲食費	0	懇親	会費	×	積፯	Z金 ×
その他補助対象項目		報償費	赴、旅 費		品費、食		賄材料				· 努費、依		
19団体等の構成員	員数	28	年度	29	年度				補足	2			
団体													
人数													
			爿	學		予算 (千円)							
20市の補助金の則	 才源	28	年度		年度		年度			補	足		
国·県支出金			0		0		0						
その他補助金			0		0		0	5地区:	分				
一般財源					915		1,000						
合計													
			880 880		915		1,000						
21団体・事業の財務	内容	28					1,000		補足	Z			
21団体・事業の財務 補助金 市	务内容	28	880	29	915		1,000		補足	Z			
	济内容	28	880 年度	29	915 年度		1,000		補足	Z			
補助金市	务内容	28	880 年度 880	29	915 年度 915	└₩▷			補見	2			
補助金 市 助成金 その他		28	880 年度 880 1,550	29	915 年度 915 1,640	5地区	1,000		補兄	足			
補助金 市 助成金 その他 事業収入 会費(自己負担等 繰越金		28	年度 880 1,550 0	29	915 年度 915 1,640 0	5地区			補足	足			
補助金 市		28	880 年度 880 1,550 0 0 865 660	29	915 年度 915 1,640 0	5地区			補見	足			
補助金 市 助成金 その他 事業収入 会費(自己負担等 繰越金)	28	年度 880 1,550 0 0 865	29	915 年度 915 1,640 0 0	5地区			補見	2			

補助金名称	地区青少年	丰育成連	絡会補助金	担当課名		生涯学習課
(2)直近の見直し	の状況(過去5年	間)				
1見直しの有無	有	\rightarrow	2見直した年度	H29	年度	
3内容	経費や	補助率を策定した)				
(3)基本的な視点	 からの評価					
評価項目及		適否	(△•׌	場合のみ記え	入)理由	₃ ∙説明
【必要性】						
①目的・内容に、補助 益性が認められるか		0				
②補助金目的が、開 薄化していないか	始時点と比べて希	0				
③広く市民生活の向。	上に貢献するか	0				
④市民ニーズが高い	事業か	0				
⑤補助金で行われて 市が関与する必要性		0				
⑥市が補助金を支出 大なマイナスの影響が (ある→〇、ない→×	があるか	0				
【妥当性】						
⑦直接執行や委託等 の手段が最適か	0					
⑧最適な補助対象か	0					
【有効性】						
⑨補助金額に見合う できるか	0					
⑩目的や目標を適切 か	に設定できている	0				
【公平性】						
①その他の団体や市 が保たれているか	民との間で公平性	0				
⑫交付先や補助金額 ているか	は公平に決められ	0				

補助金名称		地区青少年	丰育成連	絡会補	助金	担当課名	生涯学習課
(4)ガイト	・ラインの	見直しの視点					
	評価項	[]	適否		(△•×の場a	合のみ記入)理	里由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか				設定し 定でき		の活動が継ん	売しているため、終期が設
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)							
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか							
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか			0				
⑤補助率の の1以内にた		助対象経費の2分	×	要綱の)定めによる		
⑥繰越金・科 は適切か	責立金・余剰	金・内部留保の額	0				
⑦類似した	補助金はなり	いか	0				
⑧自主財源 (最低でも前		めているか を確保しているか)	0				
⑨再補助(3	0						
⑩履行確認	0						
(5)補助		証					
1補助金によれる効果・E (アウトカム) ト、具体的な	参加						
2達成状況	ある活動	動を行っ	っている				
3補助効果の	の評価	b一定の効果を	あげてい	る			
4評価の理6	画的に	舌動を行	っている				
(6)今後	の方向性						
今後の方向	性	a現行のま	ま継続				
「a現行の	まま継続」 <i>の</i>)場合			「b見直した上 [・]	で継続」の場合	<u> </u>
44961149	0.0.44542676	H29年度に要綱を改	正し、見	直し	- DEEOICE	C14E1963 05 193 E	-
継続の理	曲	済み			見直しの内容		
44E-175 07 CE III					見直しの時期		
					<u>увшо «тилуу</u>	Į.	
「c廃止す	る」の場合				「dその他」の均	易合	
廃止の理	由				その他の 内容		
廃止の時	期						